



令和 3 年度会務・会計中間報告



令和3年度 日本弁理士クラブ 事業計画

幹事長 中 村 仁

I. 基本方針

- (1) 日本弁理士会の会務運営（人事・政策）を支える。
- (2) 一体となって本年度の弁理士会役員選挙に臨む。
- (3) 知財制度、弁理士制度及び弁理士の環境改善について積極的に提言する。
- (4) 日本弁理士クラブ（以下「日弁」）構成会派の連携強化を図る。
- (5) 魅力ある組織をめざして活動する。
- (6) 無会派層の弁理士に対し日弁のシンパサイザーを増やす働きかけを行う。

II. 組織および運営

1. 総 会（定時総会2回）
 - ▶ 第1回 令和3年 4月 2日
 - ▶ 第2回 令和3年11月24日
2. 例 会（弁理士会総会・常議員会等への対策として適宜開催）
3. 幹事会（原則として毎月第2月曜日、その他必要に応じて随時開催）
 - ▶ 第1回 令和3年1月12日
 - ▶ 第2回 令和3年2月 8日（Zoom会議）
 - ▶ 第3回 令和3年3月 8日（Zoom会議）
 - ▶ 第4回 令和3年4月12日（Zoom会議）
 - ▶ 第5回 令和3年5月24日（Zoom会議）
 - ▶ 第6回 令和3年6月14日（Zoom会議）
 - ▶ 第7回 令和3年7月12日（Zoom会議）
 - ▶ 第8回 令和3年9月 2日（Zoom会議）
 - ▶ 第9回 令和3年9月30日（Zoom会議）

- ▶ 第10回 令和3年10月11日（Zoom会議）
- ▶ 第11回 令和3年11月 8日（Zoom会議）
- ▶ 第12回 令和3年12月13日（予定）

4. 正副幹事長会（必要に応じて随時開催）

5. 相談役会・常任相談役会（必要に応じて随時開催）

[相談役会]

- ▶ 第1回 令和3年 3月15日（Zoom会議）
- ▶ 第2回 令和3年 9月 2日（Zoom会議）
- ▶ 第3回 令和3年11月16日（Zoom会議）

III. 活動

1. 総会・例会の開催・運営
2. 相談役・常任相談役の選任
3. 相談役会の開催
4. 日弁五派交流事業の企画・開催
5. 委員会の委員選任・諮問事項の決定
6. 人事の調整・決定
7. 行事の企画・立案・実行
8. 日本弁理士会（関東会を含む）委員会委員の推薦
9. 日本弁理士会との連携・協議・調整
10. 会内各派との連携・協議・調整
11. 会外団体との連携・協議・調整

[三派幹事長会]

Zoom会議、メールなどにて多数開催

[三派交流会・懇親会]

第1回 令和3年 7月 2日

第2回 令和3年 8月25日

第3回 令和3年12月（予定）

12. その他

IV. 委員会等活動

1. 政策委員会

- ①【諮問】 コロナ禍における会員交流イベントの立案及び実施
- ②【委嘱】 日本弁理士会又は日弁幹事会からの検

討依頼事項への対応

- ③【委嘱】日本弁理士会執行役員会への政策的サポート（事業計画、総会議案等）
 - ④【委嘱】知的財産制度、弁理士制度、弁理士の業務環境改善（弁理士法に規定されていない業務への進出を含む）についての検討
- ▶ 項目①は令和3年3月8日に答申書、令和3年9月1日に報告書提出。

2. 協議委員会

- ①【委嘱】2022年度日本弁理士会役員定時選挙への対応

【立候補者紹介イベント】

令和3年9月6日「日弁推薦副会長立候補予定者によるトークイベント」

3. 規約委員会

- ①【委嘱】日本弁理士会又は日弁幹事会からの検討依頼事項への対応

4. 研修委員会

- ①【委嘱】日本弁理士会認定外部機関としての研修の企画・立案・実行
- ②【委嘱】前項以外の研修の企画・立案・実行
- ③【委嘱】特定侵害訴訟代理業務試験対策研修会の実施（実施可否の検討も含む）

5. 会報委員会

- ①【委嘱】会報の企画・制作・発行
- ②【委嘱】広報委員会との連携（会報のHP掲載、その他の情報共有）

6. 広報委員会

- ①【委嘱】日弁ホームページの管理・更新
- ②【委嘱】会報委員会との連携（会報のHP掲載、その他の情報共有）

V. 行事

1. リモートによる会員交流イベント

第1回 令和3年3月23日

「杉村新会長就任直前オンライン激励会」(担当：稲門)

第2回 令和3年4月23日「日本弁理士会バーチャル探訪～分かって欲しい、使って欲しい、日本弁理士会のアレコレ～」 春秋

第3回 令和3年5月25日「コロナ時代の新サービス・オンラインツールを使ってみよう！」 南甲

第4回 令和3年7月8日「海外弁理士グローバルイベント～体験者に聞くコロナ禍で変わる暮らしと知財～」 PA

第5回 令和3年8月6日「『みんな家で何してんのさ？』を語り合う会日弁の仲間にはこんな面白い人が！？え、あの人！？」 無名

2. 研修会

[集合研修（単位認定あり研修）]

新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催せず

[WEB研修（単位認定なし研修）]

令和3年9月15日「弁理士向け民法改正講座」

（講師：弁護士・弁理士小林幸夫先生）

[特定侵害訴訟代理業務試験対策研修会]

令和3年9月10日「特定侵害訴訟代理業務試験対策通信講座」

（講師：弁護士・弁理士石神恒太郎先生）

3. 役員選挙当選祝賀会 令和3年11月24日

4. 旅行会新型コロナウイルス感染拡大の影響によりリアル開催は中止

（オンライン代替イベントを開催予定：候補日12月17日）

5. テニス大会新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

6. ゴルフ大会新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

7. 5派リレーマラソン大会新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

8. ボーリング大会新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

以上

組織と活動

副幹事長 佐藤 雄哉

(令和3年9月30日現在)

I. 日弁役員

幹事会

幹事長 (南甲) 中村 仁
副幹事長 (P A) 篠田 卓宏〔広報・会報・ゴルフ〕
(春秋) 高城 貞晶〔政策・規約・テニス〕
(南甲) 佐藤 雄哉〔庶務・総会・相談役会・幹事会・協議・ボウリング〕
(無名) 亀崎 伸宏〔会計・旅行・マラソン〕
(稲門) 飯塚 健〔研修・慶弔〕
幹事 (P A) 田中 秀幸 浜井 英礼
(春秋) 山田 毅彦 吉田 信彦
(南甲) 石橋 良規 河野 生吾
(無名) 本間 博行 濱田 修
(稲門) 大貫 敏史 西脇 怜史

会計監事 (南甲) 松田 次郎
(無名) 久松 洋輔

II. 日弁委員会

1. 政策委員会(担当副幹事長 高城 貞晶)

政策委員長 (春秋) 木戸 良彦
副委員長 (P A) 中野 圭二
(春秋) 長濱 範明
(南甲) 津田 理
(無名) 篠原 淳司
(稲門) 菅原 峻一
委員 (P A) 本多 敬子 亀山 育也
(春秋) 藤田 貴男 藤村 明彦
(南甲) 金本 哲男 齊藤 良平
(無名) 竹本 如洋 矢崎 剛平
(稲門) 東谷 幸浩 福森 智哉

2. 協議委員会(担当副幹事長 佐藤 雄哉)

協議委員長 (南甲) 伊丹 勝
副委員長 (P A) 高橋 雅和
(春秋) 須藤 晃伸
(南甲) 石橋 良規
(無名) 村上 晃一
(稲門) 角田 朗
委員 (P A) 野上 晃 堀籠 佳典
(春秋) 齋藤 学 赤井 吉郎
(南甲) 河野 生吾 大塚 啓生
(無名) 石原 進介 金森 寛
(稲門) 窪田 稚之 藤坂 恭史

3. 研修委員会(担当副幹事長 飯塚 健)

研修委員長 (稲門) 寺尾 康典
委員 (P A) 長谷川 綱樹 真能 清志
(春秋) 大沼 加寿子 四野宮 隆紘
(南甲) 源田 正宏 高橋 郁江
(無名) 林 司 武居 芳樹
(稲門) 吉澤 大輔

4. 規約委員会(担当副幹事長 高城 貞晶)

規約委員長 (春秋) 大澤 豊
委員 (P A) 青木 充
(春秋) 古野 裕介
(南甲) 瀧野 文雄
(無名) 神田 正義
(稲門) 綾木 健一郎

5. 会報委員会(担当副幹事長 篠田 卓宏)

会報委員長 (P A) 山崎 晃弘
委員 (P A) 田浦 弘達 奥泉 奈緒子
(春秋) 加曾利 正典 金森 靖宏
(南甲) 榊原 靖 久我 貴洋
(無名) 亀山 夏樹 関 誠之
(稲門) 松田 真 中村 聡

6. 広報委員会（担当副幹事長 篠田 卓宏）

広報委員長（P A）帯包 浩司
委員（春秋）柳本 陽征
（南甲）楠 和也
（無名）山田 勉
（稲門）綾木 健一郎

Ⅲ. 日弁相談役会（担当副幹事長 佐藤 雄哉）

常任相談役（P A）渡邊 敬介
（春秋）清水 善廣
（南甲）伊丹 勝
（無名）筒井 大和
（稲門）稲木 次之
相談役（P A）浅村 皓 谷 義一
大西 正悟 岡部 譲
村木 清司 福田 伸一
（春秋）佐藤 辰彦 篠原 泰司
波多野 久 西島 孝喜
（南甲）幸田 全弘 樺澤 聡
樺澤 襄 久保 司
高橋 三雄 野本 陽一
真田 有
（無名）下坂 スミ子 水野 勝文
鈴木 一永 羽鳥 亘
（稲門）宇野 晴海 杉村 純子

Ⅳ. 日本弁理士会役員

1. 執行役員会

会長（稲門）杉村 純子
副会長（P A）中尾 直樹
（春秋）太田 昌孝
（南甲）井上 佳知
（稲門）市川 ルミ 吉田 正義
執行理事（P A）橋本千賀子 井川 浩文
（春秋）藤田 貴男
（南甲）千旦 和也
（無名）黒川 恵 香原 修也
（稲門）榎本 英俊

2. 常議員会

1 年度（P A）岡部 譲 小島 清路
浜井 英礼 生塩 智邦
齋藤 恭一
（春秋）近藤 直樹 二間瀬 覚
藤村 明彦
（南甲）真田 有 椿 和秀
尾関 眞里子 浅見 浩二
（無名）富崎 元成 須藤 大輔
（稲門）丸島 儀一
2 年度（P A）高梨 範夫 鈴木 大介
田中 秀幸 荒木 利之
（春秋）西島 孝喜 高橋 昌義
米屋 崇 下田 一弘
伊藤 淳
（南甲）田村 爾 大塚 啓生
源田 正宏
（無名）樋口 正樹 筒井 章子
（稲門）細田 浩一

3. 監事会

1 年度（春秋）岩壁 冬樹
（南甲）小林 幸夫
（稲門）鈴木 俊之
2 年度（P A）渡邊 敬介
（南甲）河野 誠
（無名）八木 秀人

以上

令和3年度 総会承認事項

副幹事長 佐 藤 雄 哉

第1回定時総会

日 時 : 令和3年4月2日 (金)

午後5時30分～6時30分

会 場 : 弁理士会館2階 AB会議室、
WEB会議 (Zoomミーティング)

(1) 令和2年度日弁事業報告の承認を求める件

→ 篠田卓宏副幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認された。

(2) 令和2年度日弁決算報告の承認を求める件

→ 亀崎伸宏副幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認された。

(3) 令和3年度日弁事業計画の承認を求める件

→ 中村仁幹事長による説明の後、賛成多数により承認された。

(4) 令和3年度日弁予算の承認を求める件

→ 中村仁幹事長による説明の後、賛成多数により承認された。

(5) 令和3年度日弁予算の予備費の取り崩しに関し幹事会への一任についての承認を求める件

→ 中村仁幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認された。

(6) 令和4年度日本弁理士会（関東会を含む）役員推薦に関し幹事会への一任についての承認を求める件

→ 中村仁幹事長による説明の後、賛成多数により承認された。

以上

令和3年度 日本弁理士クラブ 研修委員会報告

研修担当副幹事長 飯塚 健

本年度は、例年に倣い、1) 日本弁理士会の単位が付与される研修、2) 単位付与にかかわらない研修、及び、3) 特定侵害訴訟代理付記試験（以下、付記試験）対策関連の研修の3つの研修について検討を行いました。

なお、本年度の研修委員会は、以下の10名のメンバーで構成されております。

研修委員会メンバー（敬称略）

委員長（稲門） 寺尾 康典

委員（P A） 長谷川 綱樹 真能 清志

（春秋） 四野宮 隆紘 大沼 加寿子

（南甲） 源田 正宏 高橋 郁江

（無名） 武居 芳樹 林 司

（稲門） 吉澤 大輔

1. 研修会

本年度は、弁護士・弁理士の小林幸夫先生をお招きし、以下のオンライン研修の企画を行いました。当日は多くの先生方からのご参加を賜り、盛況のうちに終了しました。

日時 2021年9月15日

場所 オンライン（Zoom）

題目 『弁理士のための民法（債権法）改正の勘所（弁理士としてこれだけは知っておきたい民法改正）』

講師 弁護士・弁理士 小林幸夫先生

2. 付記試験・過去問解析講座

本年度は、昨年同様、弁護士・弁理士の石神恒太郎先生をお招きし、以下の研修の企画・運営を行いました。

日時 2021年9月10日

場所 オンライン（Zoom）

題目 『令和1年度第1問、第2問解説』

講師 弁護士・弁理士 石神恒太郎先生

3. 付記試験・通信講座

本年度も例年通り、付記試験対策用の通信教材を2つのオプションで提供しました。

（オプションA）

・平成27～令和1年度 第1問、第2問解説

（オプションB）

・平成27、29年度、令和1年度 第1問、第2問解説

4. 単位付与研修について

本年度は、新型コロナ対策の観点から、集合研修の開催を見送り、オンライン研修のみの開催を企画しました。しかしながら、企画時点において認定外部機関の開催するオンライン研修に対して単位認定は行われておりませんでした。そのため、本年度は、残念ながら、日本弁理士会により単位が付与される研修（上記1）の研修を開催することは叶いませんでした。

5. おわりに

本年度も日本弁理士クラブの開催する研修にご参加いただきありがとうございました。

本年度の研修はすべてオンライン研修となりました。オンライン研修は講師の立場からしますと参加者の反応等が見えづらいという側面もありますが、その一方で研修に参加しやすくなったとのお声もいただいております。本年度得られたオンライン研修に関する知見・ノウハウを次年度委員会へと適切に引き継いで参りたく存じます。

また、本年度は研修委員会の定例会議自体もすべてオンラインにて開催されました。これに代表されるように、コロナ禍にあつて、本年度は、例年とは異なる様々な対応が必要となりました。寺尾委員長を初め、研修を企画・運営いただいた研修委員の先生方に、紙面をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

今後とも日本弁理士クラブとしては、会員の先生方にとって有意義な研修を企画していきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上

令和3年度 日本弁理士クラブ 予算の紹介

令和3年度会計担当副幹事長
亀 崎 伸 宏

収入に関しましては、例年以上の繰越金をいただいております。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各種イベントが中止や縮小しての実施となったことに伴います。

支出に関しましては、本年度は会長選挙の年に該当しないため、協議・選対委員会の予算を前年に対して大きく減額しております。また、他の項目につきましては、コロナ禍で予測が難しいことから、例年の予算を基本として微調整の上、設定されたものになります。

本年度は、コロナ禍で支出内容も額も例年と異なることが想定されますが、基本的には無駄な支出がないように運営しており、例年よりも少ない支出となる予定です。

各クラブから頂いた分担金を適切に執行し、日本弁理士クラブの発展のために有効に使用させていただきます。クラブ会員の先生方のご理解・ご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

(単位：円)

収入の部

前年度会計からの繰越金	6,070,641
各クラブ分担金	2,500,000
利息	23
2020年度活動準備費（前年より）	100,000
その他	－
合計	8,670,664

支出の部

例会・総会	50,000
幹事会	300,000
会報委員会	1,000,000
協議・選対委員会	1,000,000
政策委員会	150,000
規約委員会	50,000
広報委員会	100,000
研修委員会	200,000
日弁五派交流事業費	400,000
相談役会	30,000
旅行会	850,000
旅行会ゴルフ大会補助費	50,000
ボウリング大会補助	50,000
テニス大会補助	50,000
リレーマラソン補助	50,000
庶務	30,000
慶弔費	150,000
渉外・交通	500,000
幹事長渉外費	200,000
P G／WG活動費	0
次年度活動準備費	100,000
予備費	3,360,664
合計	8,670,664



令和3年度 日本弁理士クラブ 政策委員会中間報告

政策委員長 木 戸 良 彦

1. 委員会の構成

令和3年度日本弁理士クラブ政策委員会（以下「政策委員会」）は、以下のメンバー（順不同：敬称略）で構成されており、令和3年1月28日（木）に第1回政策委員会を開催しました。

副幹事長	高城 貞晶（春秋）
副委員長	中野 圭二（P A）
	津田 理（南甲）
	篠原 淳司（無名）
	菅原 峻一（稲門）
	長濱 範明（春秋）
委員	本多 敬子（P A）
	亀山 育也（P A）
	金本 哲男（南甲）
	齊藤 良平（南甲）
	竹本 如洋（無名）
	矢崎 剛平（無名）
	東谷 幸浩（稲門）
	福森 智哉（稲門）
	藤田 貴男（春秋）
	藤村 明彦（春秋）

2. 諮問と委嘱事項について

- 諮問① コロナ禍における会員交流イベントの立案及び実施
- 委嘱① 日本弁理士会又は日本弁理士クラブ幹事会からの検討依頼事項への対応
- 委嘱② 日本弁理士会執行役員会への政策的サポート（事業計画、総会議案等）
- 委嘱③ 知的財産制度、弁理士制度、弁理士の業務環境改善（弁理士法に規定されていない業務への進出を含む）についての検討日本弁理士会役員選挙における活動

委嘱事項①－③については、例年において政策委員会に委嘱される事項であり、諮問①が本年度に特化したものである。

諮問①については、昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により日本弁理士クラブの多くのイベントが中止という状況の中、本年度もその影響は続くことが必至であり、単に中止とするのではなく、あらかじめ対応すべきという意図のもと、4月末までの答申期限が設定された。

3. 活動報告

（1）諮問①について

諮問①について、政策委員会で審議した結果、「例年の日弁の会員交流イベントは8月頃の開催が多いが、ワクチン接種がはじまった夏の季節の開催となると、コロナ禍の影響が小さくなっている可能性があり、コロナ禍における会員交流イベントというのであれば影響がまだ残る春先から始めるべきである」「イベントのテーマを一つに絞ってしまうとターゲット層が限られてしまう。また、各会派が昨年度コロナ禍で実施したイベントの経験に基づく知見を活用すべきである」といった観点に基づき、日弁構成各会派を1回ずつ主担当として、下記（2）のように5回のイベントを開催すべき、との結論に至った。

その旨を令和3年3月8日付にて、幹事長に答申書を提出している。

（2）各イベントについて

各イベントの実施概要は、以下の通りである。

【第1回】

開催日時：2021年3月23日（火）18：30～20：30

担当会派：稲門弁理士クラブ

参加人数：55名

イベントタイトル：第1弾「杉村新会長就任直前オンライン激励会」

イベント概要：

4月から新会長となる杉村純子先生と、副会長となる市川ルミ先生、吉田正義先生を登壇者として招待し、政策委員長司会のもと、ZOOMを利用した

座談会形式のイベントである。

新役員の紹介、事業計画のキャッチフレーズ、目玉政策の説明等に加えて、メールで募集した事前質問と、当日チャットに挙げられた質問を、ラジオのDJ方式で司会者から登壇者に振り分けながら回答するといった内容であった。

【第2回】

開催日時：2021年4月23日（金）18：00～20：00

担当会派：春秋会

参加人数：58名

イベントタイトル：日本弁理士会バーチャル探訪～分かって欲しい、使って欲しい、日本弁理士会のアレコレ～

イベント概要：

コロナ禍でなかなか来館できる機会が減っている中、令和2年に完成したJPAAラウンジ、新役員室、会長室、会館2階会議室、B1Cスタジオについて紹介するというのが主目的のイベントであった。事前収録VTRで紹介するとともに、会場からのライブ配信にて質問に回答するという内容であった。また、清水前会長を囲んでのトークコーナーも実施された。

【第3回】

開催日時：2021年5月25日（火）18：30～21：40

担当会派：南甲弁理士クラブ

参加人数：56名

イベントタイトル：コロナ時代の新サービス・オンラインツールを使ってみよう！

イベント概要：

第1部は、ZOOMを駆使したクイズ大会を開催。ブレイクアウトルーム機能を使って、6チームに分かれて、20問のクイズに挑戦するという内容であった。各ルームに運営担当が1名参加し、クイズを出題、チームの回答を記録し、採点する。その後、ZOOM全体にて、クイズの正解発表とチーム順位の発表がなされた。

また、オンライン会食ツールのNonpiというサービスも利用した。

第2部は、Spacial chatというツールを利用して、優勝チームへのインタビュー、歓談を中心とした内容であった。

【第4回】

開催日時：2021年7月8日（木）18：30～20：30

担当会派：PA会

参加人数：約60名

イベントタイトル：海外弁理士グローバルイベント～体験者に聞く コロナ禍で変わる暮らしと知財～イベント概要：

第1部は、ZOOMにて、ワシントン大学教授の竹中俊子先生、欧州弁理士の長谷川寛先生をゲストにお招きし、コロナ禍における各国の状況や各国の生活変化について、実体験に基づいてお話をしてもらった後に、参加者からの質問タイムを設けるトークイベント的な内容であった。

第2部は、参加者を6つのブレイクアウトルームに分けて、ゲストを交えながら、フリートークによる歓談という内容であった。

【第5回】

開催日時：2021年8月6日（金）18：30～21：30

担当会派：無名会

参加人数：39名

イベントタイトル：最終回 第5弾『みんな家で何してんのさ？』を語り合う会

日弁の仲間にはこんな面白い人が！？ え、あの人が！？

イベント概要：

第1部は、申込時のアンケート結果に基づいて、時事ネタ、テレワーク・SNS、アルコール・料理、スポーツ、eスポーツ・ゲーム、ペットといったテーマ別のブレイクアウトルームを設定し、各ルームにおいてテーマに沿った各自の実体験等を話すという内容であった。

そして、全体会を開催し、各ルームで話題となった話を共有するというもので、これを2回繰返した。

第2部は、Special Chatを利用して、自由歓談の二次会であった。

(3) 委員会活動について

政策委員会は、各イベント間にて開催し、前回イベントの反省点をまとめ、次回イベントにフィードバックしながら、準備を進めた。

4. おわりに

5回のイベントを日弁構成会派の5会派がそれぞれ主担当となることにより、各会派の個性が伝わる充実した内容であったと考える。全5回の内容は硬軟織り交ぜたものであったが、テーマによって、普段はあまり日弁イベントに参加しない会員の参加も見受けられた。

また、3月23日の第1回から8月6日の第5回までのいずれの開催時期において、東京都は緊急事態宣言かまん延防止等重点措置の実施期間であったため、リアルなイベント開催が難しい状況であったにもかかわらず、延べ270人を超える参加者による交流ができたことは、「コロナ禍における会員交流イベント」という目的は十分に達成されたものとする。

次年度以降のコロナ禍の状況は引き続き不透明な点もあるが、今後は、本年度で得られた知見に基づいて、オンライン開催、リアル開催のそれぞれのメリット・特性を活かしたイベント開催を立案・実施していくべきである。

コロナ禍にもかかわらず、積極的に議論していただき、各イベントの準備・運営に尽力いただいた委員会メンバーにお礼を申し上げたい。

令和3年春の叙勲・褒章受章者

【叙勲のうち旭日章】(弁理士業務功労)

旭日中綬章 渡邊 敬介

旭日双光章 尾崎 光三

【叙勲のうち瑞宝章】(経済産業行政事務功労)

瑞宝中綬章 結田 純次

瑞宝小綬章 竹林 則幸

瑞宝小綬章 豊岡 静男

瑞宝小綬章 河野 直樹

瑞宝小綬章 大日方和幸

瑞宝小綬章 高橋 泰史

【褒章】

なし

(敬称略)

令和3年秋の叙勲・褒章受章者

【叙勲のうち旭日章】(弁理士業務功労)

旭日双光章 伊藤 進

旭日双光章 永井 義久

【叙勲のうち瑞宝章】(経済産業行政事務功労)

瑞宝中綬章 岩崎 孝治

瑞宝中綬章 守屋 敏道

瑞宝小綬章 日比野 香

瑞宝小綬章 沼澤 幸雄

瑞宝小綬章 平井 良憲

【褒章】

なし

(敬称略)



令和3年度 旅行会報告

旅行会担当副幹事長 亀 崎 伸 宏

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年に続き、旅行会が中止となりましたので、検討段階について報告致します。

今年も、付き合いのある2つの旅行会社さんにくっかの旅行プランをご提案いただき、その中から1つを選択して、検討を進める予定でした。

しかし、コロナ禍の活動自粛の煽りを受け、1つの旅行会社さんが昨年末に廃業となっていました。色々と考えさせられる中、残りの旅行会社さんにご提案いただくことになりました。

コロナ禍であることを意識して、東京近郊である熱海、箱根、奥多摩・秩父を候補地としました。ワクチン接種が進んでいない6月の開催で検討していましたので、PCR検査を受けていることを参加条件にすることも一案として考えていました。しかしながら、状況は好転せず、旅行会は中心となりました。

今年は、政策委員会の先生方が企画したオンラインイベントで親睦を図ることができていますが、旅行会が無いのは寂しいものです。再び、旅行会が盛大に開催される日が訪れることを願うばかりです。

なお、この報告文の寄稿後、急遽、代替のイベントとしてオンラインツアーを12月に実施する方向で検討を開始致しました。開催の有無は決まっておりませんが、開催の暁には、多くの会員の皆様にご参加いただければと思っております。

令和3年度 ゴルフ大会報告

(ゴルフ大会担当) 副幹事長
篠田 卓宏

本年度も昨年度に続き、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、ゴルフ大会が中止となりました。

ゴルフ大会は、例年、旅行会の2日目のイベントとして、毎年盛況に行われております。本年度も、幹事会が主体となり、コロナ禍の状況を見ながら、旅行会とは切り離してまで開催の可否について検討を行いました。残念ながらゴルフ大会の開催は見送ることとなりました。

次年度以降、ゴルフ大会を開催できる状況になることを心から期待したいと思います。

以下は、令和元年度のゴルフ大会担当副幹事長であった太田昌孝先生による令和元年度ゴルフ大会報告です。ご一読いただき、日弁ゴルフ大会の雰囲気を思い出していただければ幸いです。

それではまた、次回の日弁ゴルフ大会でお会いしましょう。

『令和1年6月16日（日）に、伊東カントリークラブにて日弁ゴルフ大会を開催いたしました。例年通り旅行会のオプションということで、西日本弁理士クラブ、連合弁理士クラブの先生方にもご参加いただき、5組総勢17名の大会となりました。

当日は、強風が吹き荒れ、スタート前にやる気が削がれる天候ではあったのですが、とりあえず前半だけプレイしてみましょう、ということになり、9時過ぎに第1組がスタートしました。案の定、参加者の皆様は強風に苦労し、思うようなプレイができなかったものと思われます。昼食時、後半のプレイは中止にしてもいいよね、という意見も出て、最終的には幹事の私に委ねられたのですが、海外のリンクスコースのような猛烈な強風でのプレイを経験することもなかなかないということで、後半も強行しました。この判断がよかったのかどうか定かではあり

ませんが、結果的には、参加者の皆様も怪我なくプレイをすることができたことだけが救いです。

競技は例年通り、新ペリア方式のハンデ戦で行われました。優勝は、2位の南甲弁理士クラブの樺澤聡先生を押さえて、PA会の村田実先生が見事に獲得されました。また、ベストグロス賞はPA会の村田実先生と同友会の井澤先生が同グロスで並び、このバッドコンディションの中であるにもかかわらず、お二人ともさすがといった感じでした。

順位は以下の通りです（敬称略）。

優勝：村田 実
2位：樺澤 聡
3位：太田 昌孝
4位：小西 恵
5位：井澤 幹
6位：永田 元昭
7位：中村 仁
8位：香原 修也
9位：中尾 直樹
10位：香坂 薫
11位：神林 恵美子
12位：井上 誠一
13位：北村 修一郎
14位：菅原 峻一
15位：篠田 卓宏
16位：長濱 範明
17位：杉本 ゆみ子

令和初となった今年のゴルフ大会は、めったに経験できないコンディションでの開催となりましたが、こんなコンディションでも楽しまれている参加者の皆様の寛大な気持ちに、幹事としては大変救われました。改めまして、参加者の皆様のご協力に感謝申し上げます。』

令和3年度 日本弁理士クラブ テニス大会について

テニス担当副幹事長 高 城 貞 晶

1. 残念！

テニス大好き日弁会員にとって、日ごろの鍛錬の成果を披露する場として、またはひたひたと歩み寄る体力・気力の低下を実感する場として好評の日弁テニス大会ですが、本年はコロナ禍の影響により中止の判断に至りました。開催を楽しみにしていたテニス好きの先生方にはご迷惑をおかけすることとなり、大変申し訳ございませんでした。

2. 昨年からの流れ

昨年（令和2年）（2020年）は2月1日に日弁テニス大会が無事開催され、たくさんのテニス愛好弁理士が一同に集うことができました。大型クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」が横浜港に入港し、毎日のようにニュースを賑わせることになる直前の開催でした。まさにギリギリのタイミングです。

日弁テニス大会は、例年、開催日当日に翌年の開催のために翌年の会場予約を済ませています。2020年2月1日の時点では令和3年度大会は2021年2月6日開催を予定し、会場予約を済ませておりました。その後、新型コロナウイルスは次第に猛威を振るうこととなります。残念ながら、2021年2月6日の会場予約は2020年の年末にはキャンセルするとともに、状況を睨みながら令和3年度大会の開催可否を検討することになりました。

東京オリンピック・パラリンピック大会が終了した本年9月中旬、各派のテニス大会代表者を集めた検討会議がZoomで開催されました。9月の段階においても新型コロナウイルスのまん延状況はさほど改善にまで至っておらず、令和3年度日弁テニス大会は中止するとの判断に至りました。代表者会議における中止判断は日弁幹事会でも審議され、承認されました。

3. それでもめげないテニス大好き日弁会員

日弁テニス大会には会派として参加することになりますので、個人的にはテニスがやりたくても周囲の状況は無視できず、どうしても参加のハードルが高くなります。しかしながら個人レベル、近しい仲間同士ではそうではありません。比較的広い空間で行われるテニスは密な環境とは程遠く、感染リスクはさほど高くありません。

以下の写真は、次回大会に向けて着々と準備を進める、とある会員の練習風景です。次回大会では、コロナ禍にめげずに鍛錬を積み重ねた会派とそうではなかった会派とで差が開くかも知れず、例年と異なる順位になる可能性があります。



次回大会に向けて練習に取り組む会員

近年の順位は以下のとおりです。次回大会の結果が見逃せません！

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
令和 2 年度	南甲	春秋	P A	無名	
平成 31 年度	無名	P A	春秋	南甲 (同率3位)	
平成 30 年度	春秋	無名	P A	南甲	
平成 29 年度	稲門	P A	春秋	南甲	無名
平成 28 年度	無名	春秋	P A	南甲	稲門
平成 27 年度	無名	南甲	P A	稲門	春秋

令和3年度リレーマラソン大会報告

リレーマラソン大会担当副幹事長 亀 崎 伸 宏

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年に続き、リレーマラソン大会が中止となりましたので、過去の大会を振り返ると共に、今年の検討段階について報告致します。

過去の大会

(1) 第1回 (2016年12月4日 (日))

日弁駅伝大会の名称で開催されました。大井競馬場において、1周1.4kmのダートコースをリレーで30周+195m走り、合計42.195kmの所要時間を競いました。稲門弁理士クラブが3時間10分31秒を記録して第1位になりました。

(2) 第2回 (2017年11月25日 (土))

日弁創立70周年記念リレーマラソン大会として開催されました。味の素スタジアムにおいて、1周2kmのコースをリレーで3時間走り、距離を競いました。稲門弁理士クラブが21周42kmを2時間53分51秒で走り第1位になりました。

(3) 第3回 (2018年10月14日 (日))

松戸南部市場の敷地に特設されたコースにおいて、1周1kmのコースをリレーで走り、合計21.0975kmの所要時間を競いました。稲門弁理士クラブが無敗の3連覇を果たしました。

(4) 第4回 (2019年11月17日 (日))

葛西臨海公園の汐風の広場において、1周2.5kmのコースをリレーで走り、合計20kmの所要時間を競いました。稲門弁理士クラブが無敗の4連覇を果たしました。

今年の検討段階

例年9月頃に検討を開始していることから、今年も9月21日 (火) にZoomによる検討会議を行うこととし、5派のマラソン幹事の先生方 (春秋：青木修二郎先生、PA：岩見晶啓先生、南甲：大坂尚輝先生、稲門：大貫敏史先生、無名：篠原淳司先生) にご出席いただきました。新型コロナウイルス感染症拡大の傾向にある時期での検討会議でしたので、無理に大会の開催を強行する理由もなく、幹事会に中止を諮ることになりました。その後、幹事会で中止の判断となりました。

例年、大会の後、表彰式を兼ねた懇親会を開催しております。懇親会を目的に出走される先生方もいらっしゃる等、この大会を通じて親睦を図ることができております。このようなリレーマラソン大会が再び盛大に開催される日が訪れることを願うばかりです。

令和3年度 日弁ボウリング大会

日弁副幹事長 佐 藤 雄 哉

本年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、日弁ボウリング大会が中止となりましたので、以下、日弁ボウリング大会の概要について説明すると共に、本年度の検討結果について報告を致します。

日弁ボウリング大会は、日本弁理士クラブ主催のスポーツ大会の一つであり、令和元年度に第42回を迎えた歴史あるイベントです。

毎年12月上旬に開催されることが恒例となっており、一年を締め括る最後の日弁イベントとして、毎年楽しみにされている先生も多いかと思えます。

昨年度（令和2年度）は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、泣く泣く中止となりました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を目に見つつ、また、東京2020オリンピック・パラリンピックが与える影響を慎重に分析しつつ、どうすれば開催することができるのか、という前向きな視点で、建設的な議論を重ねて参りました。

その議論の中では、日弁ボウリング大会の開催条件及び参加条件や、当日の感染拡大防止策等について、ブレインストーミングにより自由に意見を出し合い、広い視野を持って検討を致しました。

また、開催時期についても、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の流行が予想される寒い時期（12月）ではなく、もっと暖かい時期に開催するのはどうか、という意見が挙がり、開催時期について日弁幹事会に相談をする場面もございました。

しかしながら、東京都等を対象とした緊急事態宣言が繰り返し延長され、なかなか解除されないという深刻な状況や、日弁主催の会員交流5カ月連続イベントにより、例年よりも会員の交流が既に図られているという状況等を総合的に考慮した結果、本年度の日弁ボウリング大会は中止とすることが好ましい、との最終判断に至りました。

最終的には、「中止」という大変残念な結果となりましたが、その結果に至るまでの熱い議論は、次年度の開催に向けた大変有意義なものであったと確信しております。

熱い議論を交わして下さった日弁ボウリング大会実行委員会の田浦弘達先生（PA）、中尾俊輔先生（春秋）、大塚啓生先生（南甲）、香坂薫先生（無名）及び吉澤大輔先生（稲門）に、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が落ち着き、第43回日弁ボウリング大会が盛大に開催される日が近く訪れることを心より祈念しております。

以 上